

6月は「男女雇用機会均等月間」です。今月は、積水ハウス（株）の伊藤様によるコラム「住宅営業の女性活躍推進について」を中心に、ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や最新の動き、調査結果等についてお送りします。

.....

（目次）

《コラム》

「住宅営業の女性活躍推進について～積水ハウス株式会社」

積水ハウス株式会社 経営企画部 ダイバーシティ推進室 室長 伊藤みどり氏

《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●特集 女性の活躍促進【内閣府大臣官房政府広報室】

《企業事例紹介》

●イクメン企業アワード 受賞企業の取組【厚生労働省】

《最新情報》

●お知らせ

・「女性が輝く社会の実現に向けて～職場での女性の活躍を推進する『ポジティブ・アクション』のご紹介」（リーフレット）【厚生労働省】（2014年5月） 他

●地方公共団体等の動き

・平成26年度北海道両立支援推進企業 表彰企業の募集【北海道】（2014年6月） 他

●イベント（開催日順に掲載）

・ワークライフバランス基礎研修会 in 八王子【主催：東京都】 他

《統計・調査トピックス》

●資本市場における女性の活躍状況の「見える化」促進に関する調査等業務報告書【内閣府】（2014年6月） 他

.....

《コラム》

「住宅営業の女性活躍推進について～積水ハウス株式会社」

積水ハウス株式会社 経営企画部 ダイバーシティ推進室 室長 伊藤みどり氏

積水ハウス（株）では、2006年に人事基本方針として「人材サステナビリティ」を宣言。多様な人材が実力を発揮できる企業文化の構築が、持続的に成長していく上での重要課題と位置付けている。

住宅の営業職は、長年男性中心の仕事だったが、住宅という生活に密着した事業の特性

上、女性の感性や生活感は不可欠と、2005年から女性営業職の積極的な採用を開始し、女性採用比率を平均20%に保持した結果、現在約300名、ようやく営業全体の7%に至ったところだ。

ロールモデルの不在、時間管理の難しさ、仕事と生活の両立不安、職場環境などの課題もまだ多かったため、2007年から女性営業職を重点支援対象として手厚く支援してきた。

具体的には、

- (1) 「全国女性営業交流会」を開催し、トップメッセージ、優績者表彰、事例発表、グループ討議等による目標設定などを実施
- (2) 「女性営業推進委員会」を立ち上げ、各エリアで研修、交流、育成面談を実施
- (3) ロールモデルの創出に向け、制度を超えた多様な働き方を個別に対応

などである。

現在では、女性初の支店長が1名、チームリーダーが7名誕生した。

また、結婚、出産などのライフイベント経験者が増加し、ロールモデルとなる人材の幅が広がった。

これは、ライフイベントによる営業外職種への異動はせず、制約ある中でも、営業として成果を出すことに拘ってきた結果だと思っている。

まだまだ途上だが、貢献が大きいロールモデルたちから見えてくるのは、ライフイベントまでに営業として自立する事、家族・上司をはじめ、周りを巻き込む力、仕事のストレスを家庭で癒し、家庭のストレスを仕事で解消していることである。生易しいものではないが、その中で覚悟を定めてきたと思われる。「営業職に拘って求める」ことが、能力開発、新たな営業スタイルを生み出す原動力となるのだ。これらの成果を着実に積み上げ、2020年には女性管理職200名、比率にして5%という目標を、満を持して達成したい。

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

●特集 女性の活躍促進【内閣府大臣官房政府広報室】

「ポジティブ・アクション」「くるみん」「女性の活躍状況の見える化」等について、詳しく紹介しています。

⇒ http://www.gov-online.go.jp/tokusyu/josei_katsuyaku/index.html

.....

《企業事例紹介》

●イクメン企業アワード 受賞企業の取組【厚生労働省】

イクメン企業アワード2013の、グランプリ受賞企業2社と、特別奨励賞受賞企業5社の取組について、詳しく紹介されています。ぜひご参考下さい。

⇒ http://www.ikumen-project.jp/pdf/award_cases_2013.pdf

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

●お知らせ

・「女性が輝く社会の実現に向けて～職場での女性の活躍を推進する『ポジティブ・アクション』のご紹介」（リーフレット）【厚生労働省】（2014年5月）

厚生労働省では、「ポジティブ・アクション」についての説明、効果、情報サイト、問い合わせ先等を記載したリーフレットを作成しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/seisaku04/110528-01.html>

・子ども・子育て支援新制度について（平成26年5月）の掲載【内閣府】（2014年6月）
子ども・子育て支援新制度の概要、関連3法の主なポイントについて掲載しています。

⇒ <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/index.html>

・「働きやすい・働きがいのある職場づくり」に役立つ各種ツールを作成【厚生労働省】（2014年6月）

厚生労働省が設置した標題プロジェクト企画委員会（座長：藤本 真 独立行政法人労働政策研究・研修機構 人材育成部門 副主任研究員）では、働きやすい・働きがいのある職場づくりを進めるために、中小企業が利用できる各種ツール（ポータルサイト、事例集、調査報告書）を作成しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000047324.html>

・イクメン企業アワード2014を実施【厚生労働省】（2014年6月）

厚生労働省では、育児を積極的に行う男性＝「イクメン」を応援する、イクメンプロジェクトの一環として、今年度も「イクメン企業アワード」を実施します。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000047319.html>

企業からの「イクボス」推薦も同時募集中！！部下の育児と仕事の両立を推進するために配慮・工夫し、あわせて業務も滞りなく進めるために業務効率を上げるよう工夫し、自らが仕事と生活を充実させている管理職を募集しています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000049263.html>

・キャリア支援企業表彰2014を公募【厚生労働省】（2014年6月）

厚生労働省では、従業員の自律的なキャリア形成の支援に取り組む企業を公募し、優れた事例を表彰する「キャリア支援企業表彰」を実施します。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/20140604careerhyoso/>

・平成 25 年度雇用均等室における法施行状況（1～3 月）（速報値）【厚生労働省】（2014 年 6 月）

男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法に関する相談、是正指導、紛争解決の援助、次世代法に基づく届出・認定状況について公表しています。

⇒ http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/sekou_report/2014_01_03.html

・平成 26 年度「ダイバーシティ経営企業 100 選」を公募【経済産業省】（2014 年 6 月）

女性、外国人、高齢者、障がい者等を含め多様な人材を活用して、イノベーションの創出や生産性向上等の成果を上げている企業を表彰します。「優れたダイバーシティ経営企業」として選定・表彰された企業の取組内容は、ベストプラクティス集として広く紹介され、優秀な人材確保につながることも期待されます。今年度は、特に「男女を含めた働き方改革」の事例も幅広く募集しております。平成 24 年度から実施しており、今年度が最終年度となる予定です。（応募締切日：8 月 20 日 17 時）

⇒ <http://www.diversity100sen.go.jp/entry/index.html>

・第 11 回経済財政諮問会議を開催【内閣府】（2014 年 6 月）

標題 会議において、「骨太方針策定に向けて」について審議されました。第 2 章「1. 女性の活躍を始めとする人材力の充実・発揮」の中で、ワーク・ライフ・バランスについて記載されています。

⇒ <http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2014/0613/agenda.html>

・「平成 26 年版男女共同参画白書」を公表【内閣府】（2014 年 6 月）

平成 26 年版男女共同参画白書を閣議決定・公表しました。本年は、特集として、「変わりゆく男性の仕事と暮らし」をテーマに取り上げました。男性に焦点を置きながら、家族・世帯及び男女のワーク・ライフ・バランス、就業を取り巻く環境等の現状と中長期的な変化について分析しているほか、様々な男女共同参画施策の取組を紹介しています。本白書は、内閣府男女共同参画局ホームページに掲載しています。また、政府刊行物サービスセンターや大型書店等でも販売されています。

⇒ http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/index.html

・平成 26 年版「少子化社会対策白書」を公表【内閣府】（2014 年 6 月）

平成 26 年版少子化社会対策白書を閣議決定・公表しました。第 2 部第 4 章で、「ワーク・ライフ・バランスの実現」について記載されています。

⇒ <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/index-w.html>

・地域版「輝く女性応援会議」開催地の決定【内閣府】（2014 年 6 月）

標題 会議の開催地が決まりました。高知県で7月24日に、7月30日に山形県で開催します。他に、三重県、佐賀県、石川県で開催予定です。

⇒ <http://www.gender.go.jp/public/report/2014/2014061701.html>

・「平成25年度雇用均等基本調査（速報版）」を公表【厚生労働省】（2014年6月）

厚生労働省では、このほど標題 調査の速報版を取りまとめましたので、公表します。今回の速報版では、育児休業取得者割合に関する調査項目について取りまとめ、「前回と比べた育児休業取得者の割合は、女性は76.3%で7.3ポイント低下、男性は2.03%で0.14ポイント上昇」という結果が得られています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/71-25.html>

・「日本再興戦略」改定2014を閣議決定（2014年6月）

アベノミクス「三本の矢」により始まりつつある経済の好循環を一過性のものに終わらせず、持続的な成長軌道につなげるべく、平成26年6月24日、「日本再興戦略」改定2014を閣議決定しました。新たな成長戦略では、大きな柱として「女性の活躍推進」が掲げられており、新たに講ずべき具体的施策として「育児・家事支援環境の整備」、「企業等における女性の登用を促進するための環境整備」、「働き方に中立的な税制・社会保障制度等への見直し」が掲げられています。

⇒ http://www.kantei.go.jp/jp/headline/seicho_senryaku2013.html#c1

●地方公共団体の動き

・平成26年度北海道両立支援推進企業 表彰企業の募集【北海道】（2014年6月）

北海道では、労働者の仕事と家庭の両立を促進するため、育児・介護休業制度等の取組を積極的に推進している企業を募集しています。（応募締切：平成26年7月31日）

⇒ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/hyosyo.htm>

・「働く女性応援講座」を開催【埼玉県】（2014年5月）

埼玉県では、県内在住・在勤で、現在働いている女性を対象に、県内経済団体等と協力して、仕事と家庭の両立やキャリアアップを目指して頑張る女性を応援するための「働く女性応援講座」を開催します。

⇒ <http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ouenkouza.html>

・女性の活躍推進に積極的な企業への意識調査を実施【埼玉県】（2014年5月）

埼玉県女性キャリアセンターでは、県認定の「多様な働き方実践企業」など女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を対象に意識調査を実施しました。調査結果の概要としては、

・女性の採用（再雇用）に関することとして、「年齢」よりも「人柄」や「経験してきた

仕事の内容」等を重視する企業が 8 割以上

・働く女性に関することとして、評価するポイントは「細やかな気遣いやコミュニケーション能力」「生活者としての視点や女性ならではのアイデア」など
等が挙げられています。

⇒ <http://www.pref.saitama.lg.jp/news/page/news140512-02.html>

・“社員いきいき！元気な会社” 宣言企業を紹介【千葉県】(2014 年 6 月)

千葉県では、仕事と家庭の両立を支援する会社を応援しており、社内や地域社会にて、これについて取組む企業を募集しています。

⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/koyou/worklifebalance/portalsite/boshuu.html>

・ワーク・ライフ・バランス推進コンサルティング事業のご案内【山梨県】(2014 年 6 月)

山梨県では、職場における仕事と家庭の両立を支援するため、コンサルタント（社会保険労務士）を無料で派遣するワーク・ライフ・バランス推進コンサルティング事業を行います。

⇒ <http://www.pref.yamanashi.jp/rosei-koy/rosei/worklifebalance/consulting.html>

・仕事と家庭の両立支援アドバイザーを派遣【岐阜県】(2014 年 6 月)

岐阜県では、岐阜県子育て支援企業登録制度の登録企業を対象として、「仕事と家庭の両立支援アドバイザー」を無料で派遣しています。

⇒

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kosodate/work-life-balance/shienkigyo/advisor.html>

・わーくわくママサポートコーナー「出張相談」を始めます【広島県】(2014 年 6 月)

広島市から離れた地域にお住まいの方にも利用してもらいやすくするため、「わーくわくママサポートコーナー」の出張相談を開始します。出張相談は、6 月 11 日東広島市をスタートとし、県内 5 会場で計 25 回の実施を予定しています。

⇒ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/womanjob/wa-kuwaku-soudan.html>

・「女性しごと応援テラス」がオープン【公益財団法人東京しごと財団】(2014 年 6 月)

東京しごとセンターでは、家庭と両立しながら再び働きたいと考えている女性の意欲に応えるため、女性再就職支援窓口「女性しごと応援テラス」を 7 月 26 日にオープンします。

⇒ http://www.tokyoshigoto.jp/news_topics.php?kbn=1&page_id=150&data_id=5227

●イベント（開催日順に掲載）

・ワークライフバランス基礎研修会 in 八王子【主催：東京都】

日時 7月2日(水) 13:30～15:30
場所 東京都八王子労政会館 2階 第1会議室
内容 ワークライフバランスを経営の味方に！
講師 合同会社夢をカナエル シニアコンサルタント 中小企業診断士・社会保険労務士
高橋美紀氏
対象 事業主、管理監督者、人事労務担当者、その他関心のある方 50名(先着順)
参加費 無料
⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/hachioji_kiso.html

・平成26年度男女共同参画週間記念事業ひょうごフォーラム【主催：兵庫県、神戸市】

日時 7月3日(木) 13:30～15:30
場所 クリスタルホール
テーマ クラウドソーシングが生み出す新しいワークスタイル
講師 (株)クラウドワークス 代表取締役社長兼CEO 吉田浩一郎氏
定員 200名(先着順)
参加費 無料
⇒ <http://www.hyogo-even.jp/26hyogoforum.pdf>

・平成26年度労働問題セミナー【主催：岡山県】

日時 7月7日(月) 13:30～15:00
場所 ピュアリティまきび
講演 「伝える」から「伝わる」へ～人のココロを動かすコミュニケーション術～
講師 プレゼンテーション・プロデューサー 山本衣奈子氏
定員 100名(先着順)
参加費 無料
⇒ <http://www.pref.okayama.jp/page/384700.html>

・ワークライフバランス基礎研修会 in 飯田橋【主催：東京都】

日時 7月16日(水) 14:30～16:30
場所 東京都労働相談情報センター(飯田橋) セミナー室
内容 企業存続のためのワークライフバランス～仕事と介護の両立支援～
講師 社会保険労務士 新田香織氏
対象 中小企業の経営者・人事労務担当者、その他関心がある方 70名(先着順)
参加費 無料
⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/26_kiso_iidabashi.html

・ワークライフバランス基礎研修会 in 国分寺【主催：東京都】

日時 7月24日（木）14:00～16:00

場所 東京都国分寺労政会館 4階 第5会議室

内容 企業の魅力を高めるワークライフバランス～人材を活かす職場環境づくり～

講師 (株)ワーク・ライフバランス

ワーク・ライフバランスコンサルタント 横山真衣氏

対象 経営者の方、人事労務担当者、その他関心のある方 50名（先着順）

参加費 無料

⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kokubunji_kiso.html

・男性の家庭進出プロジェクト【主催：鳥取県】

日時 7月25日（金）13:30～15:30

場所 鳥取県立図書館 大研修室

テーマ 家事するオトコが社会を変える！～男だって悩む！？仕事と家事の両立～

講師 NPO法人 tadaima! 代表 三木智有氏

対象 60名（※女性の方も参加可能）

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.tottori.lg.jp/237296.htm>

・女性しごと応援テラス「オープン記念講演会」【主催：（公財）東京しごと財団】

日時 7月28日（月）13:30～15:30

場所 東京しごとセンター 地下講堂

タイトル 「いくつになっても今が旬 働くことで自分を創ろう！」

講師 (株)社員教育研究室 代表 坂巻美和子 氏

対象 再就職を考えている女性など

参加費 無料

⇒ http://www.tokyoshigoto.jp/news_topics.php?kbn=1&page_id=150&data_id=5182

・ワークライフバランス基礎研修会 in 亀戸【主催：東京都】

日時 7月29日（火）14:00～16:00

場所 江東区亀戸文化センター 5階 研修室

内容 人材多様化時代における企業のワークライフバランス支援

講師 特定社会保険労務士 ワーク・ライフバランスコンサルタント 佐藤道子氏

対象 事業主、人事労務担当者、その他関心のある方 50名（先着順）

参加費 無料

⇒ http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/equal/ryoritu/kensyuu/kameido_kiso.html

・「育児をしながら働く社員の活躍推進研修」【主催：(公財) 21 世紀職業財団関西事務所】

日時 8月1日(金) 14:30~16:40

場所 日本新薬(株)

内容 デモセミナーその1「育児をしながら働く社員向け研修」

21世紀職業財団客員講師 今井尻由利子

デモセミナーその2「育児をしながら働く社員を部下に持つ管理職研修」

21世紀職業財団客員講師 古谷光弥

対象 企業の人事労務担当者、ダイバーシティ・女性活躍推進担当者等 50名

参加費 無料

⇒ http://www.jiwe.or.jp/tabid/244/Default.aspx#sankyu_ikukyu_kansai

・女性アーカイブセンター企画展示『映画と歩む~チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ~』【独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)】

映画製作の関連分野におけるパイオニアおよび現在活躍中の女性たちを取り上げ、様々な資料をとおして彼女たちが築いたキャリアの足跡を紹介します。映画上映会などの展示連動企画も予定しています。

期間 8月1日(金)~12月21日(日)(休館日をのぞく) 9:00~19:00

場所 国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室(本館1階)

入場料 無料

⇒ <http://www.nwec.jp/jp/archive/tenji2014.html>

・子ども・子育て支援新制度フォーラム in 福島【主催：内閣府、文部科学省、厚生労働省】

日時 8月2日(土) 13:30~16:20

場所 福島県文化センター 小ホール

基調講演 「保育・教育の質の向上のために」

東京大学大学院教育学研究科 教授 秋田喜代美

パネルディスカッション 「子どもの目線を見た『子ども・子育て支援新制度』」

コーディネーター 桜の聖母短期大学生活科学科 教授 西内みなみ

パネリスト 福島市市長 小林 香

全国認定こども園協会 副代表理事 古渡一秀

絵本作家 のぶみ

福島学院大学附属幼稚園保護者 根津哉子

定員 370名

参加費 無料

⇒ <http://maluto.biz/sinseido/fukusima/index.html>

.....

《統計・調査トピックス》

今回のテーマおよびワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●資本市場における女性の活躍状況の「見える化」促進に関する調査等業務報告書【内閣府】（2014年6月）

企業における女性の活躍に関する情報開示について、開示状況を調査・分析するとともに、優れた開示内容を紹介・公表することにより、企業の積極的な情報開示を促進することを目的とし、調査を実施しました。好事例の選定に際し、「女性活躍」に関する記載をしている556社の記載内容を項目別に分析したところ、「「仕事と育児の両立支援、ワークライフバランス」（41.7%）が2番目に多く記載」等の結果が得られています。

⇒ <http://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/25mierukachosa.html>

●少子化社会対策の大綱の見直しに向けた意識調査 報告書【内閣府政策統括官（共生社会政策担当）】（2014年3月）

子ども・子育て支援に関する取組の調査結果のポイントとして、

- ・大綱の「目指すべき社会の姿」の達成度について、達成していると思う取組として「子どもの健康と安全を守り、安心して医療にかかれるような社会」（34.8%）、一方で、達成していないと思う取組として「誰もが希望する幼児教育と保育サービスを受けられるような社会」（53.2%）
- ・大綱の取組について、取組を行っていると思う国の取組として「子どもの学びを支援する取組」（25.3%）、一方で、取組を行っていないと思う国の取組として「若者の自立した生活と就労に向けた支援の取組」（42.1%）、「男性の子育てへの関わりを促進する取組」（42.1%）

等があげられています。

⇒ http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/h25/taiko/index_pdf.html

●「医療従事者の勤務環境改善に向けた手法の確立のための調査・研究」報告書【平成25年度厚生労働省委託／医療従事者の勤務環境の改善に向けた手法の確立のための調査・研究班】（2014年3月）

医療従事者の不足が大きな課題となる中で、「雇用の質」向上に資するための「雇用の質」向上マネジメントシステムの構築ならびに好事例を広く紹介するためのデータベース構築を行うべく、調査・研究を実施した結果についてまとめられています。

⇒

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/quality/houkokusyo.html

●第 27 回「勤労者の仕事と暮らしに関するアンケート（勤労者短観）」【連合総研】（2014 年 6 月）

連合総研では、第 27 回勤労者短観調査を実施しました。今回の調査では、勤労者の景況感や物価、仕事に関する意識などの定点調査のほか、「家計の経済状況」、「3 年後の経済状況や 5 年後の自身の賃金見通し」等について調査しました。

⇒ <http://www.rengo-soken.or.jp/webpage/29.html>

●女性の活躍推進に関する意識調査【一般財団法人経済広報センター】（2014 年 3 月）

（一財）経済広報センターは、「女性の活躍推進に関する意識調査」を実施しました。調査結果の要点としては、

- ・ 3 人に 2 人が、女性の活躍を推進する企業の取り組みは「進んできている」と回答
- ・ 女性の管理職登用を増やすための効果的な取り組みは「経営層・管理職層の意識改革」がトップ

等が挙げられています。

⇒ <http://www.kkc.or.jp/release/detail.php?page=1&year=2013&id=94>

●平成 25 年度東京都男女雇用平等参画状況調査（女性の活躍促進への取組等企業における男女雇用管理に関する調査）【東京都】（2014 年 3 月）

男女雇用機会均等法、改正育児・介護休業法への対応のほか、女性管理職、ポジティブ・アクションに関することを調査しました。調査結果のポイントとしては、

- ・ 管理職に占める女性の割合は 1 割未満
- ・ 女性従業員は男性従業員に比べて管理職になることについて消極的な傾向
- ・ ポジティブ・アクションの取組について、事業所の約半数は取組が進んでいるとしている

るが、女性従業員の6割以上は取組が進んでいないと感じている
等が挙げられています。

⇒ <http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2014/03/60o3r600.htm>

.....

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

□配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

□バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

□このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

□内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

.....

《編集後記》

先の通常国会で8月11日を「山の日」と定める「国民の祝日に関する法律の一部を改正する法律案」が成立しました。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨としています。これで、国民の祝日の数は全部で16となりますが、施行は2年後の平成28年ですので、お間違いのないように。

さて、まもなく梅雨が明け、太陽がまぶしい夏がやってきます。夏といえば連続休暇を取得してリフレッシュする絶好の機会です。このメルマガをご覧になっている皆様は、家族や友人との海や山へのレジャー、帰省等と楽しい思い出作りの計画案を練っているところでしょうか。(は)

.....